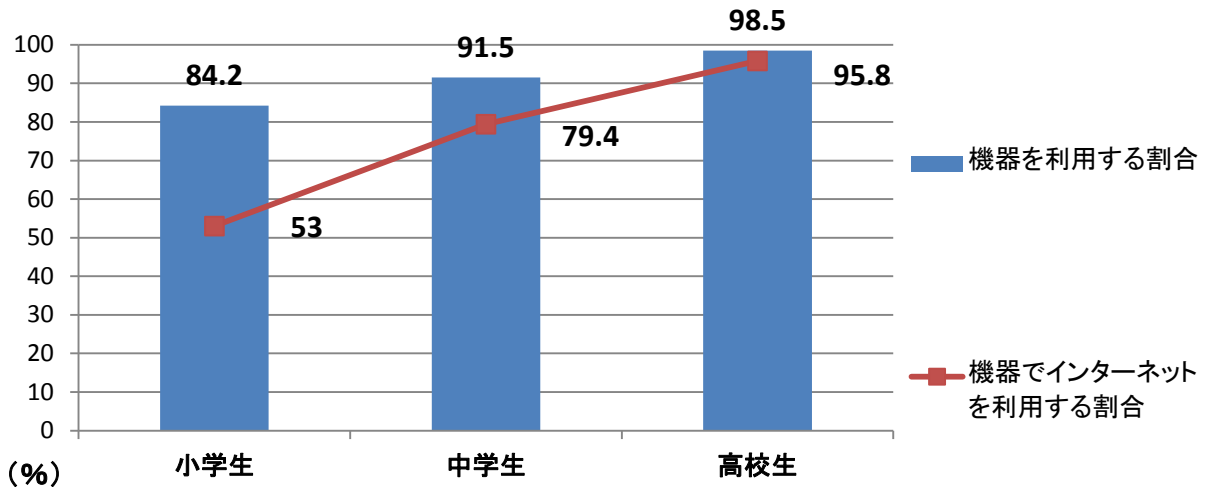


# 1. ケータイ・スマホの所持率等について

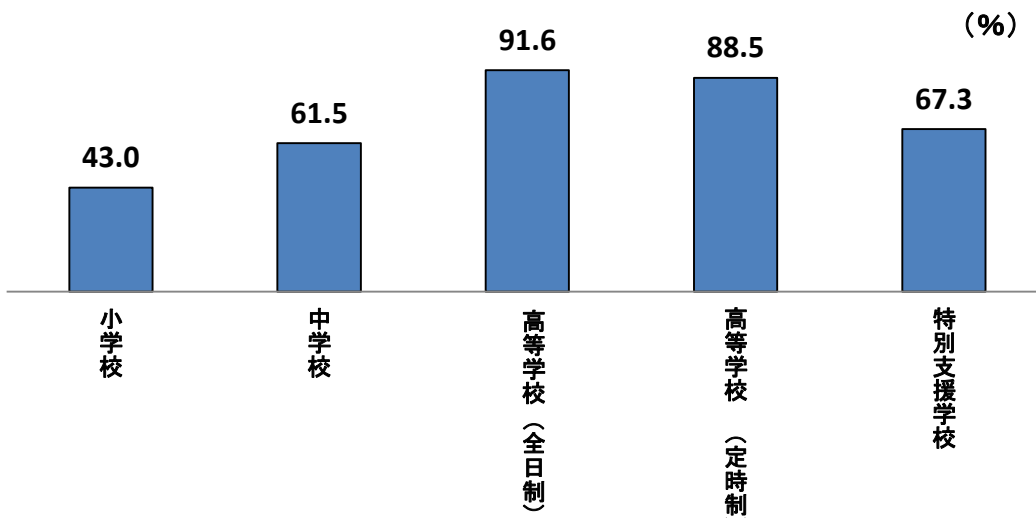
## ①各機器における青少年のインターネット利用状況



注:「機器」とは、スマートフォン(格安、子供向け、携帯電話の契約が切れたもの、を含む)、携帯電話(子供向け、を含む)、パソコン(ノート、デスクトップ)、タブレット(学習用、子供向け娯楽用、を含む)、携帯音楽プレイヤー、携帯ゲーム機、据え置き型ゲーム機、インターネット接続テレビの15機器

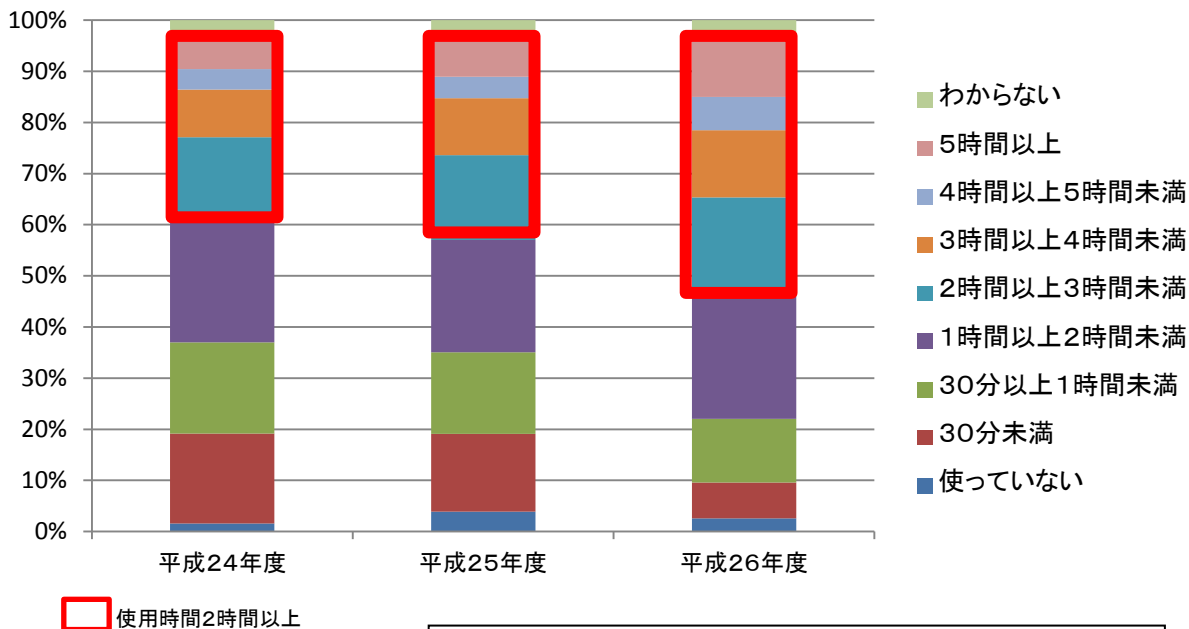
参照: 青少年のインターネット利用環境実態調査(平成26年度 内閣府)

## ②携帯電話・スマートフォンの所持率(高知県)



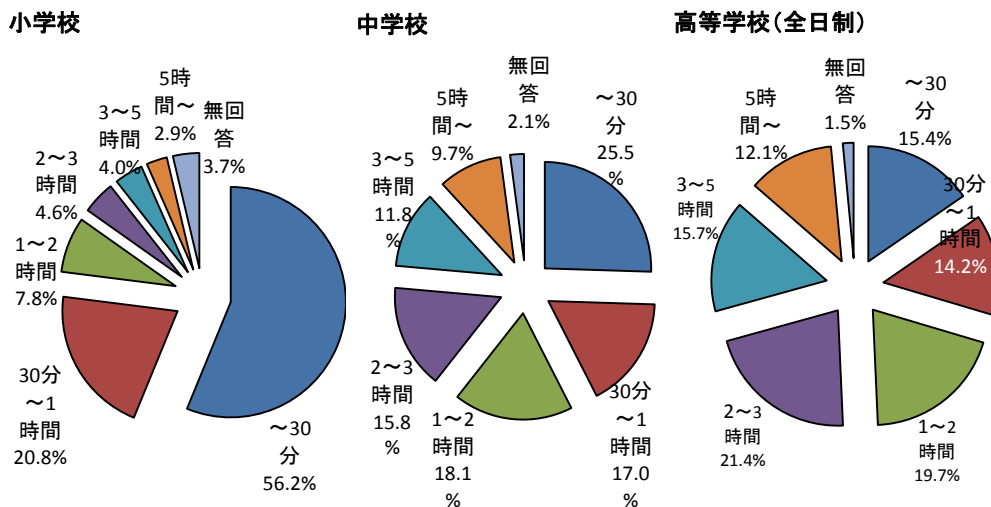
参照: 携帯電話(スマートフォン)利用実態調査(平成24年度 高知県教育委員会)

### ③携帯電話・スマートフォンを通じたインターネット利用時間



参照：青少年のインターネット利用環境実態調査（平成26年度 内閣府）

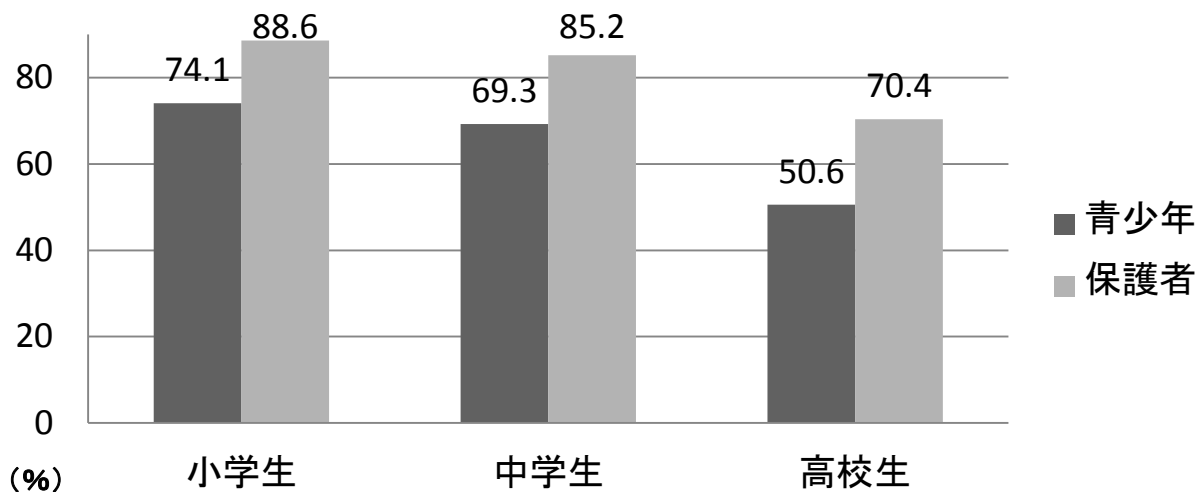
### ④携帯電話・スマートフォンを通じたインターネット利用時間（高知県）



参照：携帯電話(スマートフォン)利用実態調査(平成24年度 高知県教育委員会)

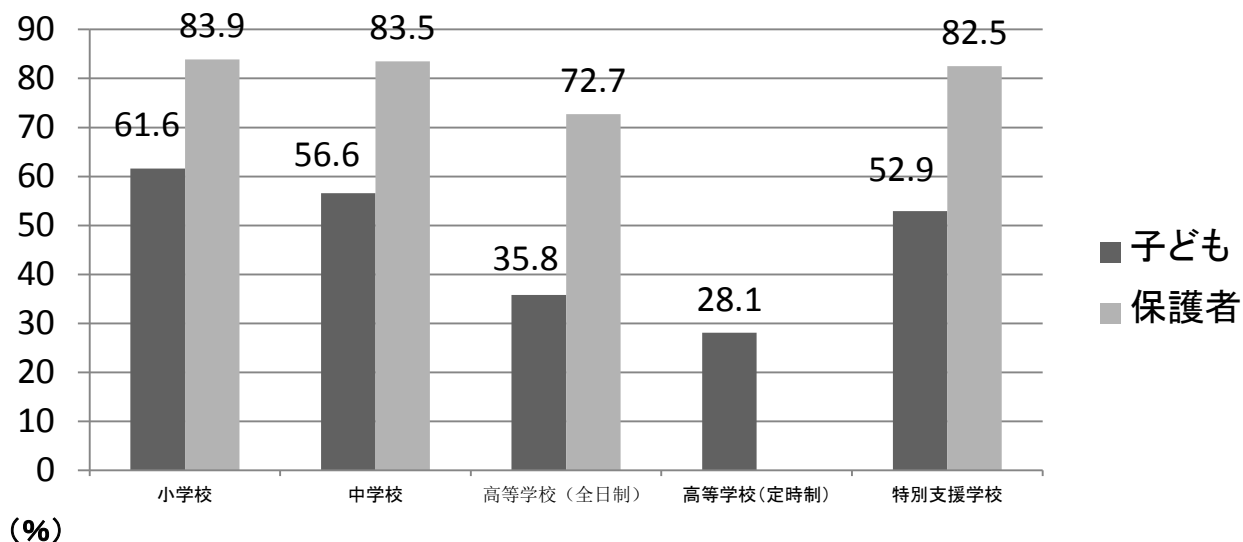
## 2. 子どもと保護者の意識差について

### ①インターネット接続機器の使い方についての家庭のルールの有無



参照: 青少年のインターネット利用環境実態調査(平成26年度 内閣府)

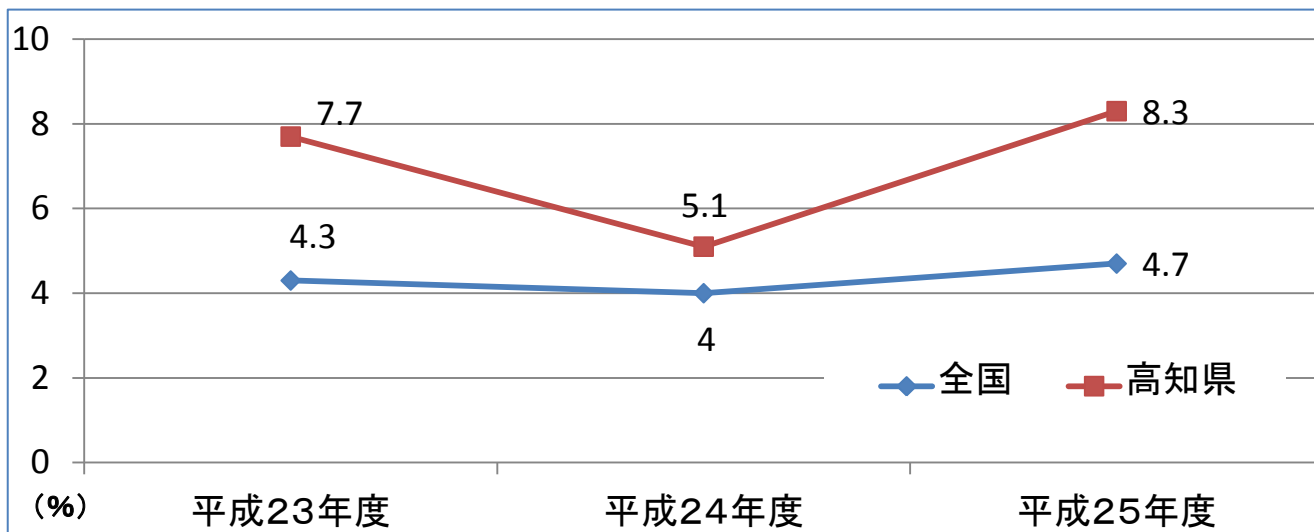
### ②インターネット接続機器の使い方についての家庭のルールの有無 (高知県)



参照: 携帯電話(スマートフォン)利用実態調査(平成24年度 高知県教育委員会)

### 3. いじめの認知状況について

#### ①いじめの認知件数に占めるパソコンや携帯電話等によるいじめの割合（経年変化）



参照：児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査

#### ②パソコンや携帯電話等によるいじめの認知件数

(件)

	平成23年度	平成24年度	平成25年度
全 国	2,992 (70,231)	7,855 (198,109)	8,787 (185,860)
高知県	23 (300)	35 (689)	45 (540)

※ 全国・高知県ともに、国公立学校の認知件数(小・中・公・特別支援学校)

※ ( ) 内の数字は、いじめの認知件数の総数

参照：児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査

## 4. ネットいじめの特徴

- 24時間攻撃の可能性
- 匿名性／なりすまし
- 特定のグループ内の不特定者から
- 多人数に広まる可能性(複製)
- 周りからの監視の目が届かない
- ログで記録(証拠)が残せる場合あり
- 弱者が強者をいじめることも可能

図 従来のいじめのタイプと「ネットいじめ」の特徴・比較

	いじめの手段	いじめの規模	いじめの発生場所	いじめの記憶性	加害者の特定	いじめの役割
対面いじめ(リアル)	身体・言葉	限定的	学校内・地域内	なし	可能	固定的・流動的
文字によるいじめ(リアル/ヴァーチャル)	紙・ノート、黒板、机、壁など	限定的	学校内・地域内	あり(消去可)	可能(困難)	固定的・流動的
ネットいじめ(ヴァーチャル)	インターネット(ケータイ・パソコン)	広範囲(無範囲?)	学校外・地域外	あり(消去可・複製可)	ほぼ不可能(技術的には可能)	非常に流動的

\* 原清治・山内乾史(2011)『ネットいじめはなぜ「痛い」のか』ミネルヴァ書房 p199

## 5. ネットいじめの種類

- 掲示板・ブログ・プロフでの「ネット上のいじめ」
  - i) 掲示板・ブログ・プロフへの誹謗・中傷の書き込み
  - ii) 掲示板・ブログ・プロフへ個人情報無断で掲載
  - iii) 特定の子どもになりすましてインターネット上で活動(誹謗・中傷を含む)を行う
- メールでの「いじめ」
  - i) メールで特定の子どもに対して誹謗・中傷を行う
  - ii) 「チェーンメール」で悪口や誹謗・中傷の内容を送信する
  - iii) 「なりすましメール」で誹謗・中傷などを行う
- その他
 

口コミサイトやオンラインゲーム上のチャットで、誹謗・中傷の書き込みの事例などがあります。また、最近の事例では、SNS(ソーシャルネットワーキングサービス)を利用して、誹謗・中傷の書き込みを行うことが増加してきています。

## 6. ネット問題に関する事例

### ネットいじめに関するもの〔県内〕

#### 事例1(省略)

### ネットいじめに関するもの〔県外〕

■中学生Aは、同じクラスの数人の生徒からいじめを受けていた。加害生徒の一人がいじめの様子を携帯電話で撮影し、動画サイトに投稿した。その動画を見た同校の複数の生徒も生徒Aを誹謗中傷する書き込みを行うようになり、生徒Aは学校に行くことができなくなった。

■2013年に自殺した奈良県の13歳の中学生Bは、SNSで家族を中傷する書き込みをされたり、悪口を書き込まれるなどのネットいじめも受けていた。

■九州地方の県立高校では2012年12月以降、女子生徒の間でSNSによる中傷が繰り返えされ、書き込みがエスカレートし、「妊娠した」と嘘を書かれた生徒Cが退学する事態に発展した。

### ネット上の誹謗中傷の例〔県内〕

#### 事例2(省略)